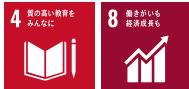


□ 要請番号 (JL25725B12)**募集終了**

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
セントルシア	C103 野菜栽培		個別	交替 2代目	2年	・2026/1・2026/2・ 2026/3・2027/1

【配属機関概要】**1) 受入省庁名（日本語）**

教育・持続的開発・革新・科学・技術・職業訓練省

2) 配属機関名（日本語）

技術職業教育訓練資格認定局

3) 任地（カストリーズ） JICA事務所の所在地（ロドニー＝ベイ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで約1.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先はセカンダリースクール(小学6～高校1年に相当)を中心に職業訓練部門を所管する部署。主に農業、水産業、電気、木工、自動車整備、コンピュータ等の訓練カリキュラム策定、実施運営、資格認定等の業務を担当し、教育事務所や管轄学校と業務調整を実施。当国では農業に特化した訓練校はなく、農業志望の学生は、教科内の農業コース(農業科学)を選択する。内容は概ね日本の中学の理科(生物分野)と、農業高校1年生が履修する農業基礎に類似している。現在、4つのセカンダリースクールが重点支援校として指定されている。

【要請概要】**1) 要請理由・背景**

政府は重点課題に雇用創出を掲げ、職業訓練分野の改善と規模拡充を行っている。同国は火山島で平地が少なく土壌も豊かでないが、気候は年間を通じて温暖多雨であり、農業人材の育成次第で、農業拡充・収益向上に加え、雇用創出も期待できる。そこで、農業コース拡充の為にJICA海外協力隊が要請された。重点支援4校含む対象校には実習用農場があり、農具類や灌水施設は整備されているが、規模は日本の地方の小学校の学校農園程度。農業担当教員は在籍しており、農家出身者も多いが、十分な知識と経験を有しているとは言い難い。初代隊員(2025年8月帰国)が、担当教員との信頼関係を構築し、農場の土壤や栽培管理の改善が進んだといえる。更なる農業コース拡充を目指し後任隊員が要請された。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

※配属先と相談の上、活動当初の基盤となるセカンダリースクールを1校(現時点ではGrand Riviere Secondary Schoolを想定)選択し、通常は同校に通い信頼関係を構築しつつ、農業コース拡充に資する活動計画を策定。その後、可能な範囲で他現場も巡回指導する。

1.巡回先(農業コース)の担当教員をサポートし、授業/実習の一部を担当する。

2.新たな販路開拓等についても指導や助言を行う。

3.活動先の要望でアクアポニックス(養魚と水耕栽培の循環施設)への指導・助言が求められる可能性もある。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

農具類(スコップ、鍬、レーキ等の一般的なもの)。チューブ灌水施設。ナイロン紐の刈り払い機。計量器。一部の学校には耕耘機やシーラー(販売時にポリ袋を密着させる)がある。トラクターはなく、予算があれば外部に耕耘を委託。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

局長、女性50歳代、1名
職員、女性5名、男性1名 計6名(2024年末変更)
活動対象者:
セカンダリースクールの農業担当教員(主に男性)および生徒(小学校6年生～高校1年生)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（高等学校教諭（農業））

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：実務指導を行うため

[参考情報]：

- ・水耕栽培の知見があればなお良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（20～35°C位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

初代隊員(2023/1次隊)は、配属先からの依頼が無くとも、自ら公共バスを利用して、重点支援校を巡回指導しており、後続隊員にも、依頼待ちではなく、自ら活動を押し進める「切り開く力」が求められる。農業省マーケティングユニット所属、経営管理隊員(2024/3次隊)との協働機会もありうる。

【類似職種】